

水曜3講・哲学入門 課題の取組み・単位の取得について

グループワーク(合計4回)への参加点[20点]、3回の(小)レポートの提出点[70点]

および常日頃の講義参加点[10点]で評価します。

(各講義日の講義実施形態)

第一講座[4/11]通常講義 第二講座[4/18]通常講義・課題や単位の説明 第三講座[4/25]通常講義

第四講座[5/2]通常講義 第五講座[5/9]グループワーク①/レポート用紙(1)を配布

第六講座[5/16]通常講義 第七講座[5/23]通常講義

第八講座[5/30]グループワーク②/レポート用紙(2)を配布 第九講座[6/6]通常講義

第十講座[6/13]通常講義 第十一講座[6/20]通常講義

第十二講座[6/27]グループワーク③/レポート用紙(3)を配布 第十三講座[7/4]通常講義

第十四講座[7/11]通常講義 第十五講座[7/18]グループワーク③/各レポート提出最終締め切り

レポート用紙 配布日	レポート一次提出期間	おなきけ 二次提出期間 (少し減点)	
レポート(1) 5/9 水	5/16 水,5/23水 各講義終了後	6/6 水,6/13 水,6/20 水各講義終了後	
レポート(2) 5/30 水	6/6 水,6/13 水,6/20水各講義終了後	7/4 水,7/11 水 各講義終了後	
レポート(3) 6/27 水	7/4 水,7/11 水講義後・7/18水講義始	7/19 木～7/28 土(メール送信)	
レポート用紙はグループワークの日に配布しますが、提出受付は配布の次週以降です。			配点

極力それぞれの一次提出期間に間にあうように提出してください。

どのレポートも一次締切を遅れての提出は最終講義日までは受け付けますが、グループワーク当日の持参はできるだけさけてください。ただし最終講義日はグループワークの日ですが、提出を受け付けます。(ただしグループワーク開始前には提出できるよう事前に仕上げてきてください。)

最終講義日にレポート提出が間に合わない場合のみ、メールでの提出を認めます。

※メール送信先は katsuki6_6@yahoo.co.jp です。

添付ファイルは使用せず、メール冒頭に「講義名・開講日時(哲学入門・水3)・学籍番号・班・名前」を記入のうえ、タスク([あ][い])両方をメールに直接入力してください。受信できたら後日渡辺から受取確認メールを返信します。

※グループワークの参加がゼロの生徒 または 未提出のレポートが一つでも残る生徒には単位は認定できません。

哲学入門 予習プリント[倫理観中心](水3)【 】穴埋めの解答

- 1 無限定
- 2 ログス
- 3 存在
- 4 原子
- 5 無知
- 6 イデア
- 7 ボリス
- 8 ストア
- 9 善一者
- 10 三位
- 11 形而
- 12 意志
- 13 普遍
- 14 人格
- 15 格差

法則」)になりうるかを常に自問自答しながら行為すべきだという。自分が避けることを他に強要したり、自分に許すことを他には許さないような姿勢であれば矛盾しており、普遍的な道徳原則に基づく行為とは言えない。／⑬宗教対立に端を発する戦争や内乱が広まった近代ヨーロッパでは、国際平和の実現を模索する様々な思想が現れた。**ホッブズ**は「各人の各人に対する戦争状態」が人間の本性であると認め、強大な国家権力による統治が必要であるとした。**ヒューム**は国家間の関係は敵対心によるものばかりではなく、商業的につながることで相互利益をはかる関係の構築が可能だとし、商業的社交性が多国間平和の維持に有効であるとした。**カント**は人間の自然状態を協調よりはむしろ戦争状態であるとみなす点ではホッブズに近いが、戦争に疲弊して停戦条約を結ぼうとするのも人間の自然な成り行きだと考えている。単なる停戦から恒久的な平和にするための「国際連合」成立の必要性をカントは説く。またカントは人間は理性に立てば、戦争を繰り返さずとも国際平和が実現できるとし、「お互いの【14_____】の完成こそを目的とする」道徳化により戦争をなくすことをめざす。／⑭民主主義が広がり、原則的には皆が平等に幸福になる権利を与えられているはずだが、現実には個々の置かれた状況に左右される不平等がある。**ロールズ**は「最大多数の最大幸福」を唱える**功利主義**では、利益の公正な分配についての配慮が足りないため、多数者による大きな善の獲得を優先することで少数者の自由や権利が迫害される危険性を指摘する。ロールズは公正な社会契約のあり方を考えるうえで、自分の立場について一切不明な「無知のヴェール」を被った人たちが平等の初期状態においてどのような社会契約に同意するかという思考実験を行う。仮説的契約では、功利主義が想定する社会的効用や全体の幸福よりも、万人平等に基本的自由が与えられるのを優先し、底辺層切り捨てを避けるシステムが選ばれようとする。個人の才能を社会の共通資産とみなし、格差を是正する【15_____原理】に基づき、才能ある人が産み出した成果を、才能や境遇に恵まれない人びとを利することに還元するのが公正な社会システムだとする。

水曜3講・哲学入門／グループワーク実施・レポート手書き! 提出要項

グループワーク(四回) ① 5/9水 ② 5/30水 ③ 6/27水 ④ 7/18水 (参加点は一回最大5点)			20
レポート用紙 配布日	レポート一次提出期間	おなきけ 二次提出期間 (少し減点)	
レポート(1) 5/9水	5/16水,5/23水 各講義終了後	6/6水,6/13水,6/20水各講義終了後	22
レポート(2) 5/30水	6/6水,6/13水,6/20水各講義終了後	7/4水,7/11水 各講義終了後	26
レポート(3) 6/27水	7/4水,7/11水講義後・7/18水講義始	7/19木～7/28土(メール送信)	22
レポート用紙はグループワークの日に配布しますが、提出受付は配布の次週以降です。			配点

※グループワーク当日は遅刻厳禁!遅刻者は2点減点。残り時間20分未満で入室の場合、欠席扱い(0点)。
 ※配布するレポート用紙には表側にタスク[あ](哲学・思想史理解)、裏側にタスク[い](グループワーク関連)の二つの課題があります。両方(表側も裏側も)必ず記述すること!片面だけの記述は受け付けません。

※タスク[あ]は、それぞれのレポートで対象とする範囲が指定されています。
 レポート(1):第1,2,3,4講座 / レポート(2):第6,7,9講座 / レポート(3):第10,11,13,14講座
 指定範囲のどれかの講座のエントリーシートにアクセスし、そこに記載された選択テーマから一つを選びます。
 「せたなべ哲学」ホームページトップで水曜3講・哲学入門をクリックすればエントリーシートの入口があります。

タスク[い]はグループワークに関連したテーマです。(このプリントの裏面でテーマが確認できます。)
 グループワーク実施日に欠席した場合、設問印刷済の専用レポート用紙をホームページ「せたなべ」からダウンロード・印刷して使用してください。(印刷ができない場合は個人のルーズリーフ等を用いて下さい。)
 ※レポートは提出期間内(上の表参照)の毎回の講義終了直後に直接渡辺まで提出してください。
 ただし最終講義日のみ、グループワーク④実施前にレポート(3)を回収します。
 ※グループワーク①②③実施日は、どのレポートも一切提出を受けつけないので、注意してください。
 ※レポート(3)のみ、最終講義日までに提出できない場合、メール提出を認めます。※メール送信先は katsuki6_6@yahoo.co.jp です。添付ファイルは使用せず、メール冒頭に「講義名・開講日時(哲学入門・水3)・学籍番号・班・名前」を記入のうえ、タスク([あ][い])両方をメールに直接入力してください。受信できたら後日渡辺から受取確認メールを返信します。
 ※ホームページ「せたなべ哲学」を活用しよう。(GOOGLEに「せたなべ」と入力して検索)
 講義スライドと同内容のPDFやグループワークの資料、レポートのタスクを公開しています。
 ※グループワークの参加がゼロの生徒 または 未提出のレポートが一つでも残る生徒には単位は認定できません。

A君



エントリーシートはレポートのタスク[あ]のテーマだけでなく各講義の着眼点も書いてある。家に帰ったら早速アクセスしてみよう。

Bさん



タスク[い]はこのプリントの裏面でテーマの予習ができる。このプリントは毎回もってきてね。なくしちゃだめよ。

C君



グループワークで当日配布する資料では僕達が対話している。タスク[い]はそれを読んで書いてほしい。